

現代社会総合研究所・スポーツの現代的課題主催 特別講演会



大学時代夢中になったことを  
仕事につなげる  
～箱根駅伝走者から新聞記者に～



1月13日（木）14:45－16:15（4限）オンライン

講師：竹内達朗氏

（報知新聞記者・箱根駅伝出場者）

コーディネーター：榊原圭子

（社会学部准教授・研究員）

要旨：大学時代に取り組んできたことが、社会人になった時にどのように生きてくるのかは、多くの学生の考えるところです。学生時代に長距離走者として箱根駅伝に出場し、卒業後は新聞記者として、様々なスポーツの取材にたずさわる卒業生をお招きし、学生時代に何かに力を入れることの意味とその後のキャリアへの展開について議論します。

現代社会総合研究所・スポーツの現代的課題主催 特別講演会



アスリートのデュアルキャリア、  
セカンドキャリアを考える  
～国際審判から税理士へのキャリアチェンジ～



1月13日（木）18:15－19:45（6限）オンライン

講師：相樂亨氏

（元サッカー国際審判、税理士,中小企業診断士）

コーディネーター：榊原圭子

（社会学部准教授・研究員）

要旨：東京オリンピックの開催決定を契機に、アスリートのデュアルキャリア（2つのキャリアを並行する）という考え方が注目されるようになりました。大学時代からサッカーの審判をはじめ、企業に就職後も休日にサッカー審判の経験を積み、その後、国際審判として活躍。そして今、税理士へとキャリアチェンジした卒業生をお招きし、デュアルキャリア、セカンドキャリアについて考えます。